

6月
定例会



VOI.13

いかた 議会だより

平成20年(2008年)8月20日

発行 伊方町議会

編集 議会だより編集委員会

電話 ㊟-0211(内線410)

㊟-2662(直通)

きなはいや伊方まつり2008



(2008.7.27 活魚のつかみどり)

今回の主な内容

6月定例会の動き	2P
主な決定事項	2P~3P
第12回臨時会報告	3P
一般質問・議員研修会	4P~6P
委員会報告	7P
議会日誌	8P



6月定例会の動き

第13回定例会は、6月24日～25日開催

報告5件、専決処分4件、条例3件、
補正予算6件、契約5件、その他4件、発議1件
(すべて原案承認・可決しました)

主な決定事項

報告

平成19年度伊方町一般会計繰越明許費繰越計算書について

地方自治法施行令第146条第2項の規定により、調整し議会へ報告
翌年度繰越額
3億3,950万2千円

平成19年度伊方町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

地方自治法施行令第146条第2項の規定により、調整し議会へ報告
翌年度繰越額
1億9,137万7千円

平成19年度伊方町小規模下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

地方自治法施行令第146条第2項の規定により、調整し議会へ報告
翌年度繰越額
2,412万円

平成19年度伊方町土地開発公社

社決算書の提出について

地方自治法第243条の3第2項の規定により、経営状況を説明する書類として議会に提出

平成19年度株式会社アグリ瀬戸経営状況報告書の提出について

地方自治法第243条の3第2項の規定により、経営状況を説明する書類として議会に提出

専決処分

伊方町手数料条例の一部を改正する条例制定について

主に戸籍法の改正により、戸籍謄本等の交付請求時において、運転免許証等本人を証明するものを提示しなければならなくなったことに伴い、手数料条例の中で請求時に必要な条項を追加改正

伊方町税条例の一部を改正する条例制定について

主にふるさと納税制度の創

設に伴い、寄附金税額控除の条項追加、及び平成21年度から住民税が年金から天引きされる条項の追加

伊方町国民健康保険診療所の使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定について

診療報酬の算定方法が厚生労働省より告示されたことに伴い、条例の一部を改正

伊方町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

主に後期高齢者医療制度創設に伴い後期高齢者の支援分を新たに設け賦課する改正

条例

伊方町個人情報保護条例の全部を改正する条例制定について

主に、個人情報について本人以外から収集出来る範囲の変更、保有個人情報の開示請求の特例の新設、利用停止請求権の新設、法の規定にならぬ罰則規定の新設、法にならぬ条例の全体構成の見直し及び用語の整理

伊方町監査委員条例の一部を改正する条例制定について
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に伴い、条例の一部改正

伊方町営住宅条例等の一部を改正する条例制定について

入居時における敷金の徴収や入居者の修繕費用の維持管理関係について小集落改良住宅、特定公共賃貸住宅など3条例の整合性を保つため条例の一部改正

補正予算

平成20年度伊方町一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ5億8,207万3千円を追加し、予算総額を104億3,750万円

平成20年度伊方町学校給食特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ437万1千円を追加し、予算総額を4,909万9千円

平成20年度伊方町老人保健特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ
1,944万9千円を追加し
予算総額を
2億1,138万9千円

平成20年度伊方町介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ
877万9千円を追加し
予算総額を
10億1,729万7千円

平成20年度伊方町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ
5,129万円を追加し
予算総額を
4億7,761万円

平成20年度伊方町小規模下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ
3,800万5千円を追加し
予算総額を
1億7,727万5千円

契約

佐田岬灯台駐車場災害復旧工事請負契約の変更締結について

変更前

1億1,634万円

変更後

1億2,092万3千円

（事業量変更による増額）

有限会社三崎建設

町道大成鳥津線道路改良工事請負契約の締結について

契約金額5,145万円
有限会社竹場建設

三崎（与修）漁港整備交付金事業請負契約の締結について

契約金額8,242万5千円
堀田建設株式会社伊方支店

塩成漁港整備交付金事業請負契約の締結について

契約金額
1億7,524万5千円
堀田建設株式会社伊方支店

豊の浦漁港地域水産物供給基盤整備事業請負契約の締結について

契約金額
1億3,928万2千5百円
田中建設有限公司

その他

物品の取得について

瀬戸及び三崎地域小学校
情報機器整備
取得価格3,801万円

四国放教株式会社

伊方町特定環境保全公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の締結について

九町浄化センターの建設工事委託
協定金額6億円

日本下水道事業団

八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合規約の変更について

地方自治法第286条第1項の規定により規約の一部改正

伊方町過疎地域自立促進計画の変更について

平成17年9月29日に議会の議決を得て策定した計画の一部を変更

発議

伊方町議会委員会条例の一部を改正する条例制定について
第2条第3号中「福祉課」を「保健福祉課」に改めるもの

【第12回臨時会報告】

第12回臨時会は、7月4日に開催され、上程された議案は何れも原案のとおり可決されました。

○平成20年度伊方町一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ253万円を追加し、予算総額104億4,003万円

○伊方町立三崎小学校校舎改築工事請負契約の締結について

契約金額 4億1,055万円 堀田建設株式会社伊方支店

一般質問

通告概要

篠川長治議員

- 伊方町の町づくりイベントについて
- ごみ焼却処理施設の設置について
- 伊方町の保育所、小中学校の耐震対策等について
- 平成20年4月1日実施の入札・契約制度の改善内容について

梶田和美議員

- ジェネリック医薬品の普及促進について
- 小中学校の耐震化について



篠川長治議員

伊方町の町づくりイベントについて

問 伊方町は、きなはいや伊

方まつり、瀬戸の花嫁まつり、三崎豊漁祭などにそれぞれ助成を行っております。その中でも「イベントに参加してもお客さんではなく、こつて組（主催グループ）の一日会員として楽しく過ごしましょう」等のスローガンの「ももーももーフェスティバル」や「ちりめん祭り」は地元有志の方々を中心に地域力アップを目指したものであり、その熱意に対し深く敬意を表すものであります。このような佐田岬半島の「豊かな自然」観光素材を町内外に発信する

ことが、佐田岬半島の元気と振興につながると思えます。このようなグループ活動に対し、町はどのように係っていかれるお考えをお伺いします。

答 町ではこのような各地区でのイベントに対し、その一部を定額で助成しており、今後もふるさとを思う地域の方々との熱意とやる気にお応えできよう可能な限り継続していきたいと思っております。

また、町の助成だけでなく今年度から創設された県新ふるさとづくり支援事業の助成制度等の活用もできるような各種団体等に情報提供を行い積極的支援して参りたいと思っております。（町長）



ちりめん祭り

ごみ焼却処理施設の設置について

問 平成24年度末をもって、八幡浜市の環境センターが可燃ごみの受け入れを中止すると

焼却施設の建設が大きな課題となります。プラスチックには、より便利に使えるように着色などを目的にしているいろいろな種類の添加剤等が含まれており、マテリアルリサイクルが難しい廃プラスチック（資源として回収されず、ごみとして出されるプラスチック）も多くあります。現在の焼却炉は廃プラスチックを焼却した場合のダイオキシン類等の有害物質についても対応しており、埋め立てずに焼却処理した方がかさ張る埋立量の減少、埋立地でのメタンガス発生量の削減、収集車輛の運搬距離短縮による温室効果ガスの削減等様々な効果が見込まれます。

また、可能であればサーマルリサイクル（ごみを焼却処理する際に発生するエネルギーを回収して発電や冷暖房等の熱源として有効利用）の取り



組みが望まれます。ごみ焼却処理施設の設置につきましては、「コストなど十分な検討が必要ではあります」が、伊方町独自の「ごみ焼却処理場設置の検討」について提言します。

答 現在、可燃ごみを共同処理している八幡浜市・西予市・伊方町において、八幡浜プロジェクトごみ処理広域化計画推進協議会を組織し、契約終了後の新たなごみ焼却施設の建設に向け候補地の検討を行っております。このような経緯から、隣接自治体等との広域事業により対応すべきと考えており、現在のところ伊方町単独のごみ焼却場を設置する必要についての認識はございません。なお、ゴミ焼却に伴う環境へ

の影響やサーマルリサイクル等については、広域協議の中で取り組んで参りたいと思っております。(町長)



伊方町の保育所、 小中学校の耐震対策 等について

問 中国四川の大地震で学校の校舎の倒壊による子ども達の痛ましい被災の状況が報道されております。伊方町の耐震対策は近隣市町より進んでいることはマスコミも報じておりますが、耐震安全性は100%でなければなりません。都道府県知事や市町村長など殆どの首長が、揮発油税等の暫定税率延長と道路財源確保を主張していたことは、記憶に新しいことではないでしょうか。道路も

の命より大切なものはありません。阪神淡路大震災から14年が経過しております。都道府県及び市町村挙げて公立学校、保育所等の耐震安全性100%へ向けた運動を即展開すべきであると思えます。ご所見お伺いいたします。

答 現在、町内には10ヶ所の保育所があり、その内対象となる昭和56年以前に設計された竣工した建物で、2階建、床面積計500㎡以上の施設は伊方保育所と大浜保育所であります。伊方保育所は耐震診断を既に業者発注しており、大浜保育所についても、早急に耐震診断を実施し対応したいと思っております。小中学校の内、対象となる8校10棟については、一次診断は全て完了しており、耐震補強工事が必要とする学校のうち、三机小学校は既に完了しており、三崎小学校については今年度改築工事にて対応することとしております。伊方中学校管理棟は工事設計の発注を予定しており、同校特別教室棟の2棟及び伊方小学校の二次診断

平成20年4月1日実 施の入札・契約制度 の改善内容について

についても早期完了を目指し手続を進めております。大切なお子さんをお預かりしている施設であり、その耐震対策の必要性を強く再認識いたし、早急に対応したいと思っております。(町長)

問 伊方町は、平成20年4月1日から、入札・契約制度の公平かつ公正な競争性の向上を図るとして、その改善策を公表しています。そこで、
(1)調査基準価格同額の低入札案件の増加による施工不良や下請けへのしわ寄せなどの弊害の事例について。
(2)低入札価格調査制度の失格判断基準の適用により、入札時に提出する工事内訳書記載の各費目「直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費」の金額が判断基準のいずれか一つに該当する入札については失格となる。ところが、入札時に提出する工事内

訳書記載の各費目を、国の標準的な工事内訳を基に試算すると、予定価格1千万円とした場合、土木工事で失格判断基準は67・75%未満となり改正前60%程度から7・75%と大幅な引き上げとなる。今、なぜ失格判断基準の底上げなのか。

(3)調査基準価格の計算式による額が、予定価格の3分の2に満たない場合、予定価格の3分の2を調査基準価格とし、予定価格の10分の8・5を超える場合は、予定価格の10分の8・5を調査基準価格とするとなっている。新旧を比較すると改正前の「調査基準価格と失格基準価格」は土木で「75%と60%」建築で「70%」に対し、改正後は土木で「78%と67・75%」建築で「76%と68・75%」である。土木工事の失格判断基準は7・75%と大幅な引き上げであるのに対し、建築は1・25%の引き下げとなっていることについて。
(4)制限付一般競争入札は、町内業者でできる事業は町内業者での入札だと認識している。

町税の町内事業者への課税と町外業者(町内に営業拠点を置く)への課税について。以上について質問いたします。

答 (1)低価格入札については18年度が5件、19年度が16件と増加してきており、発注者側にとっては事業費の圧縮につながる反面、コスト切り詰めの為の手抜き工事や下請け業者の労働条件の悪化につながらないかという懸念もあります。町としては、発注責任を果たす為、施工管理には万全を期しこれらの懸念を現実化に発生させてはならないと考えておりますので、ご理解願います。
(2)施工品質確保等の観点から低価格入札の排除に取り組むよう、国土交通省及び総務省からの通達、町の入札監視委員会からの要請もあり、県に準じ失格判断基準の実効性の向上を図る取り組みであります。
(3)工事内容の違いにより一概に引き下げとは言えませんが、施工品質の確保を第一に考え

願います。

(4) 建設業者に係る法人町民税については、町内に事務所や事業所を有する法人に対し、均等割と法人税割で構成されており、町外に本社があり、町内に営業拠点を持している場合でも応分に課税されることになっております。

(町長)

梶田和美議員



ジェネリック医薬品の普及促進について

問 医療の中で薬代が占める割合は大変大きいと思う。医師会等の御協力をいただき医療機関へ患者さんへの啓発ポスターを張らせていただく等、

ジェネリック(後発)医薬品の普及を図れないか。患者個人の負担が減り、家庭での医療費の節約に役立ち、高騰する医療費の抑制にもつながるのではないかと。ジェネリック医薬品を、使用すべきと考えますが、町としてのご所見をお伺いしたい。

答 ジェネリック医薬品の使用は、患者個人の負担額の軽減、医療費の抑制等メリットもありますが、品質の信頼性に不安を抱く方も少なくありません。患者が真に求める医薬品とは安全性と有効性が確実であることではないかと考えます。国の指針としても、数量シェアを24年度末までに30%とすることとしており、また医療機関における薬剤の処方医師の判断に委ねられておりますので特に私の所見を申し述べることはございません。なお、町内の国保診療所における使用状況は総患者数の3割程度であり、ある程度の使用レベルに達していると考えられます。

(町長)

小中学校の耐震化について

問 中国・四川大地震で学校倒壊を受け、現在、国も耐震化事業を加速するよう、耐震化事業への国庫補助率拡充の見通しである。小中学校の現在の補強工事等の進捗状況と今後の予定についてお伺いしたい。

答 篠川議員への答弁と同じ内容になりますが、今まで以上に早急に耐震対策が完了出来るよう取り組んで参りたいと思っております。(町長)



安心・安全のまちづくり

第1回愛媛県町議会議員研修会開催

さる7月7日(月)原子力保安研修所視察研修及び、町議会議員研修会が行われました。午前中、原子力保安研修所(松山市)にて、伊方発電所の運転員を対象にしたシミュレーターを使った事故・故障対応操作等の実技訓練の様子を視察しました。

新型シミュレーターでは、従来のように運転員が移動しながらスイッチ等の操作を行うのではなく、デジタル化により机上で操作が出来るようになってきているとのこと。午後から、きたつ会館(松山市)において議員研修会が



原子力保安研修所視察



研修会

実施され、会では「議員の使命と役割」と題し、県総務部市町役目」と題し、県総務部市町振興課長北村明生氏の講演の後、「地方分権時代の『自治体議会』の機構と機能」と題し、松山大学法学部長妹尾克敏先生の講演が行われました。議会の使命と役割、議員個人がプロとしての自覚を持ち、議会の創意と工夫を首長に提示し続ける力を蓄えていく必要があるとの言葉に参加した議員らは熱心に聴き入っていました。



委員会（協議会）報告

月 日	委員会（協議会）	概 要
6月12日	議会運営委員会	第13回定例会の運営について
6月17日	議員全員協議会	デマンド交通の運行状況について 自主防災組織の取り組みについて 個人情報保護条例の改正について 平成20年度入札・契約制度の改善について 6月補正の建設事業について （1）足成漁港漁村再生交付金事業の計画について （2）公営住宅建設事業について 救急医療について 伊方町斎場建設計画について リサイクルセンター建設計画について 第4期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画について 予防接種助成事業について （1）肺炎球菌ワクチン接種費助成事業 （2）中学生以下インフルエンザ予防接種助成事業 豊之浦小学校及び塩成小学校の統合について 平成20年度伊方町民運動会の開催について その他の条例の改正等について その他 ①町政懇談会について ②ふるさと納税の取り組みについて ③佐田岬灯台駐車場災害復旧工事の進捗について ④伊方風力発電所（二見）の落雷被害について ⑤NPO法人佐田岬ツーリズム協会の活動状況について ⑥三崎小学校校舎の改築について
7月1日	議会運営委員会	第12回臨時会の運営について
7月17日	議会運営委員会	民事再生法の規定に係る契約事項の対応について
7月23日	議員全員協議会	民事再生法の規定に係る契約事項の対応について

伊方スポレク祭2008 ペタンク（一般男子の部）優勝!!

さる6月8日（日）伊方中グラウンドにおいて伊方スポレク祭が開催され、議会からも2チームが参加しました。

当日はさわやかな晴天の中、熱戦が繰り広げられ、我が伊方町議会も「ペタンク一般男子の部」において見事優勝を納めました。

参加した議員らは心地よい汗を流し、交流を深めたようです。

【ペタンク一般男子の部結果】

優勝 町議会B
準優勝 伊方越
3位 中浦



議 会 日 誌

- | | | | |
|--------|--|---------|--|
| 5月1日 | 議会だより編集委員会 | 6月17日 | 議員全員協議会 |
| 2日 | 全国展開支援事業評価委員会(町商工会) | 18日 | 町老連総会 |
| 3・4日 | 三崎豊漁祭 | 18~20日 | 四国地区人権教育研究大会 |
| 8日 | 伊予柑橘共同選果部会総会 | 24・25日 | 伊方町議会第13回定例会 |
| 10日 | つわぶき荘創立10周年記念事業 | 27日 | 町斎場新築工事検討委員会 |
| 13日 | 大間町議会視察研修
全国原子力発電所立地市町村議会議長
会幹事会
町区長会 | 30日 | 姉妹都市友好親善団渡航説明会 |
| 14日 | 町みなとオアシス調査検討委員会 | 7月1日 | 議会運営委員会 |
| 15日 | 例月現金出納検査(監査委員) | 2日 | 町遺族会総会 |
| 18日 | 大浜地区ふるさと祭り | 4日 | 伊方町議会第12回臨時会
国道197号地域高規格道路建設促進同盟
会定期総会 |
| 19・20日 | 県町村議会議長・副議長研修会 | 7日 | 四国電力(株)原子保安研修所視察
議会議員研修会 |
| 21日 | 町商工会通常総代会 | 11日 | 町見地区戦没者慰霊祭 |
| 23日 | 全国原子力発電所所在市町村協議会総会 | 16日 | 国道197号地域高規格道路建設促進知事
要望 |
| 27日 | 全国原子力発電所立地市町村議会議長
会役員会・定期総会 | 17日 | 議会運営委員会
例月現金出納検査(監査委員) |
| 6月1日 | 伊方ライオンズクラブ結成30周年記
念大会 | 18日 | 国道197号地域高規格道路建設促進規成
同例会国土交通省四国地方整備局要望 |
| 4日 | 四国土砂防災ネットワーク議員連盟定
期総会 | 23日 | 議員全員協議会 |
| 6日 | 八幡浜地区防犯協会通常総会
町人对協・人教協役員会 | 27日 | きなはいや伊方まつり |
| 8日 | きららまつり
伊方スポレク祭2008 | 28日 | 第4回町営バス運行委員会 |
| 10日 | 町介護保険事業計画等策定検討委員会 | 29日 | 決算審査(監査委員)
西宇和郡障害者協会総会 |
| 12日 | 議会運営委員会 | 30日 | 決算審査(監査委員) |
| 13日 | 水道事業会計決算審査(監査委員)
例月現金出納検査(監査委員)
町人権対策協議会・人権教育協議会定
期総会 | 31~8/7日 | 伊方町友好親善団派遣
県町村監査委員協議会臨時総会研修会
(監査委員) |

【きなはいや伊方まつり】

7月27日きなはいや伊方まつりが開催さ
れ、オープニングでは山下実行委員会会長
の開会挨拶、中村議長の祝辞の後、伊方堂々
太鼓ジュニアによる演奏が行われ、盛大に
祭りがスタートしました。

イベントで
はものまね歌
謡ショーや花
火などが行わ
れ訪れた観客
は暑い夏の一
日を楽しんだ
ようです。



編集後記

暑い毎日が続きますが、
皆様どうぞ可愛くください。
議会だより第13号をお届け
いたします。

ご意見、ご感想をお寄せ
ください。

